

報道関係者各位

F C V（燃料電池自動車）の導入について

県では、利用時に二酸化炭素を排出せず、カーボンニュートラル実現の一翼を担うエネルギーとして期待される水素に対する理解を深めるとともに、その利活用を推進していくため、水素を燃料とするF C V（燃料電池自動車）を公用車として導入しました。

F C Vの有用性を広く県民の方々にP Rし、県内での普及促進を図るため、山形県知事による試乗体験及び外部給電機能のデモンストレーションを下記のとおり実施いたしますので、御取材くださるようお願いいたします。

なお、今後は、F C Vを各種イベントの際に展示するなど、県民に「見て・触れて・体験」してもらうことで水素エネルギーの利活用に向けた機運醸成に取り組んでまいります。

記

- 期 日：令和6年10月15日（火）13時15分～13時45分
（報道機関の受付時間：12時45分～）
- 場 所：県庁正面ロータリー
- 出席者：山形県知事、トヨタカローラ山形株式会社
- 実施内容：①山形県知事によるF C Vの試乗
②外部給電機能を活用した災害時利用のデモンストレーション
- その他：10月19日から20日に開催する「やまがた環境展2024」においても、F C Vの展示と外部給電機能のデモンストレーションを実施する予定です。

- 導入車種について
トヨタ自動車株式会社 M I R A I
- 外部給電機能について
F C Vを外部給電器に接続することで、F C Vで発電した電気をスマートフォンや調理器具等の様々な電化製品に供給することができることから、災害時の非常用電源として活用することが可能。



【問合せ】環境エネルギー部環境企画課
カーボンニュートラル・GX戦略室 室長補佐 前田
電話 023-630-2921

【報道監】環境エネルギー部 次長 遠藤